



発行
八尾市民生委員
児童委員協議会
会長 谷岡久枝
〒581-0003
八尾市本町2-4-10
☎991-1161
編集 広報部会



DISCOVER YAO

天台院：八尾市西山本町2-5-8

こんな八尾ご存知でしたか

目次

P1 表紙

P2～P3 特集：小中学校に風知草を持参

P4～P5 専門部会活動報告／行事／座右の銘

P6 リレー投稿／趣味

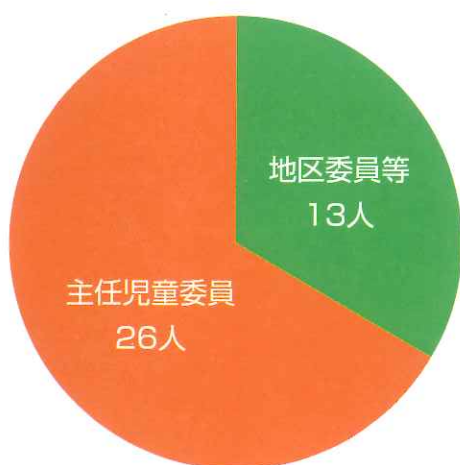
P7 地区研修だより

P8 表彰／退任／委嘱／あとがき

特集

小中学校に、機関紙「風知草」を持参しました。

回答者



※都合が合わず、訪問できなかった委員：2人

訪問先では、主に誰とお話しされましたか？

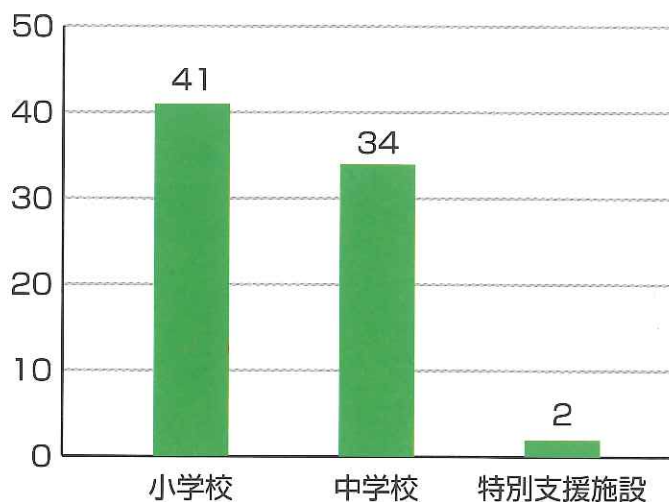


「中学校長とはこの機会に初めて話ことができました」という感想もありました。

近年、市民児協では「関係機関との連携」にも力を入れています。中でも、昨夏の市教育長との懇談を契機に、企画部会において「地域の小中学校との顔の見える関係づくり」について検討しました。その結果、「平成30年11月発行の風知草を、地区委員長と主任児童委員が各小中学校に持参する」ことが決まりました。11月下旬から12月にかけて実施しました。

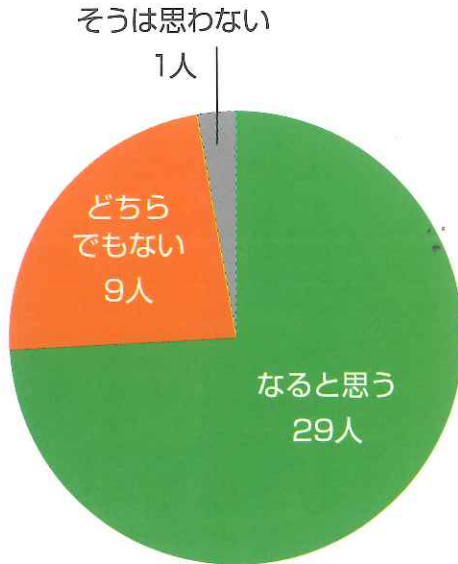
今回は、その訪問後に行ったアンケート調査の結果を掲載しています。

訪問先（複数回答可）



アンケート結果

この訪問が、教育機関との連携の
きっかけになると感じますか？



【なると思う】の主な内容

- お互いの顔を知るいい機会になりました。
- ゆっくりと話することができました。
- 児童委員や主任児童委員の活動内容をお伝えできました。
- 次の学校行事に参加しやすくなりました。
- 顔を覚えていただき、何かあったときに動きやすくなると思います。

【どちらでもない】【そうは思わない】の主な内容

- 普段からの連携が大事だと思います。
- 学校側も協力していきたいようですが、情報共有が難しそうに感じました。
- 日ごろから連携できています。

この訪問で印象に残ったこと、これからの取り組みについて(抜粋)

- 校長先生と様々なお話ができて良かったです。
- 「(風知草を)送ってもらってもよかったのに」と言われましたが、お会いして、顔を合わせることでできてよかったと思います。
- 登校拒否の子どものことや、校長先生が気になっている子どものことなど、訪問をきっかけにこれからも協力できそうです。
- 校長先生が「地域との関わりが大切」と言われたことが印象的でした。
- まだ児童委員や主任児童委員の活動をご存じ

ない校長先生もおられましたので、これからも関わってみたいです。

- 日ごろから関わっているため、今回の活動はあまり必要とは思いません。
- 会う回数を増やせば、打ち解けていくかと思います。
- ゆっくりお話をする時間を取っていただき良かったです。
- これからも途切れることなく続けてほしいです。



なお、他の関係機関（校区高齢者あんしんセンター等）にも風知草を配布し、民生委員児童委員活動の周知を図っています。

このように、「訪問してよかった」「これからの連携に繋がる」という回答が多く寄せられました。そこで、今後も年2回の風知草発行（5月・11月）の際に、小中学校に持参し、さらなる連携強化に努めることが決まりました。

専門部会活動報告

主任児童委員部会 研修会

高橋 博子

平成30年11月29日(木)、生涯学習センターかがやき4階において100人の参加者のもと社会福祉法人 石井記念愛染園わかくさ保育園園長 わらびかわ はるゆき 蔵川晴之様に「子ども・子育て家庭の現状について」保育園を通して見えてきたもの」と題してご講演いただきました。



講師の蔵川氏

わかくさ保育園は『いきいきと輝く、意欲ある子ども』『思いやりのある、やさしい子ども』をかけた誕生しました。保護者のさまざまな様子を通して、子どもの権利について考えるお話でした。

園でのたくさんの経験の中で、子ども一人ひとりに合わせた関わり、工夫されたつながりの大切さを教えていただきました。さまざまな家庭的な厳しさ、子育ての大変さ等のお話は、私達の地域の中でも共感できる内容でした。



研修会の様子

私たち主任児童委員はこれから、民生委員児童委員の方々と手を携えて、地域の子どもたちが元気で安心して暮らせるように、微力ですが、見守っていききたいと思います。

高齢者福祉部会 研修会

部会長 吉田 允侃

平成30年9月6日(木)、

高齢者福祉部会を実施しました。高齢者の4人に1人が

認知症とその予備軍といわれ、とりわけ認知症が進行した行動障害の一つ、徘徊は大きな社会問題になっていきます。我々の見守り活動中には認知症の症状を呈する高齢者と接する機会も増えてきました。今回は以前の研修とは異なり、八尾市認知症地域支援推進員の山本哲也様をお迎えして、部会幹事対象に徘徊模擬訓練を実施いたしました。

認知機能が低下し、自分が今どこにいるかわからなくなったり、買物や散歩に出かけても道に迷ったり、自宅へ戻れなくなるといふ方を発見した時どう対処するかという設問で、十数人単位が4つのグループに分かれて実際に一人ずつ対応を体験するという



模擬訓練の様子①

訓練です。模擬訓練の徘徊役と、指導役を校区高齢者あんしんセンターにお願いしました。

このような手順で、模擬訓練を参加者全員が行い、訓練終了後の反省会での指導役並びに徘徊役から貴重な助言を頂きました。

それは「簡単な挨拶から始め、相手の目線に合わせて耳を傾け、ゆっくり対応する」という基本そのもので、必要以上に意識しないで向き合うことが大切とのことでした。多くの方が初めての体験で、戸惑いいつも言葉のかけ方やタイミング、話す内容の難しさを感じられたようで、いい

経験をしたとの感想をいただきました。

「住み慣れた我が家でいつまでも暮らし続けたい」という願いは誰もが持ちうるものです。我々に今求められているのは認知症を正しく理解し、認知症になっても安心して暮らせる町づくりをめざし、地域で見守り、支えあっていく一員になることだと感じました。

参加者は想定を上回る65名。認知症への関心の高さを物語るものだと感じています。研修会にあたっては校区高齢者あんしんセンター、高齢介護課のスタッフの皆さんのご協力に感謝申し上げます。



模擬訓練の様子②

行事

はとぼっぼの活動について

龍華 武田 朋子

はとぼっぼは、就学・就園前児とその保護者を対象に、現在八尾市内12カ所で開催している子育てサロンです。

開催地区により催し物などそれぞれ違いはありますが、龍華地区ではコミセンで年10回、身長・体重を計測し一年間の成長が一目でわかるよう出席カードに記録しています。

土曜日の開催ということもあり、お父さんも参加しやすいようです。兄弟連れで下の子が乳児の場合は、参加者が上の子と遊ぶ時間を作るよう、できるだけ下の子を預かるようにしています。そのときはスヤスヤ眠る可愛い寝顔に癒されます。

銘の右座

「二期一会」

よく耳にすることはですが、その日の出会いは、一生にただ一度だけのものと心得て大切にしております。

二島 猛（八尾）

昨年12月のはとぼっぼでは、子どもたちの歓声とお母さん達が押す携帯電話のシャッター音の中3人のサンタクロースが登場し、プレゼントを配りました。最近は広い会議室が狭くなったと感じ



3人のサンタクロース

じる程、参加者が増えました。嬉しさの反面、怪我や事故が起らないよう気を付けなければと責任も重く感じています。

加者同士の交流、スタッフとの語り合いの機会を作り、ひとりで子育てに悩む保護者の出会いの場でもありたいと思っています。



はとぼっぼの様子



サロンの様子

私の住んでいるマンションでは、毎月第3日曜日に集会所のふれあいサロン「やまびこ」から賑やかな声が聞こえてきます。

「やまびこ」は、住民の交流の場として月1回午前10時から午後3時まで開かれています。管理組合の中のコミュニケーション部を中心に、高齢会や自治会の有志



の方々によって運営されています。

会場では、お茶やお菓子が用意され、参加者はおしゃべりやトランプやオセロなどのゲームをしたり、麻雀・囲碁・将棋を楽しんだりして思い思いに過ごします。さらに月によつてはスペシャルな「企画」が開催されます。今まで、音楽会・バザー・花見・演芸会・朝市・ダーツ・河内音頭・クリスマス会などバラエティーに富んだ企画が好評でした。企画を考える委員の方は大変でしょうが、私たちは毎月の「やまびこ」のお知らせのピラが張られるのを楽しみにしています。



昨年の12月には、クリスマス会ということで多くの親子連れが来られました。大人も子どもも一緒にお餅を丸めたり、クリスマスの歌を唱ったりしました。やはり、子どもの声が聞こえるのはいいですね。最後にはビンゴゲームで大いに盛り上がり笑いのうちに開きとなりました。

私は参加して楽しませていただくのですが、この「やまびこ」のおかげで知り合いも増えてとても感謝しています。

趣味

夫婦岩 実良
(龍華)

御朱印の散歩道

若い頃は無趣味の私でしたが、平成5年海外駐在から帰国後は趣味の世界をさまよいました。パソコン・写真・料理・盆栽・ゴルフ・寺社巡り・園芸・マンション管理士・ホ



私の御朱印帳

ームページ・仏像・読書・御朱印巡りなど次々とほましました。まさに趣味症候群でしたが、最終的には読書と御朱印巡りが代表的な趣味となりました。

今回は御朱印巡りを紹介します。寺社巡りを始めて20年ぐらいいになりますが、昨今の御朱印ブームには驚きを感じています。若者が寺社に興味を持つことは歴史のロマンを肌で感じる絶好の機会なのですが、残念ながら参拝もせず御朱印だけをいただくスタンプリーのような姿には残念でなりません。私の場合、最初は「寺と花」をテーマに写真撮影にはまり、つぎに仏像

に魅入り、そして御朱印巡りにのめりこみました。今では26冊目の御朱印帳になり、パソコンで御朱印帳の情報管理をしています。よくここまでほまったものです。私の御朱印のいただき方ですが、まず寺務所で書いてほしいページを開いて御朱印を預けます。ご本尊にお参りし、帰り際に御朱印代(300円前後)を支払い、御朱印帳を受取り使いますが、電車やバスを使いますが、できる限り歩き1日約2〜3万歩位になります。70歳になりましたので、今後は無理をしない1万歩位で歴史のロマンに浸りたいと思います。

地区研修だより

山本第三地区委員会

上田 邦子

例年の一泊研修会が今年度より日帰り研修会となり、平成30年11月6日、湯の花温泉方面へ行きました。バス内では研修ビデオを見せていただきました。

トロッコ嵯峨駅でトロッコ列車に乗車。平均時速約25kmだからこそその風を感じ、音に耳を傾け、心地よい非日常を感じ約25分間で亀岡駅で下車。トロッコ列車は平成3年4月27日一号車が発売し、現在では乗客は100万人を超えるそうです。昼食は湯の花温泉の松園荘保津川亭でお料理をいただきながら、他の地区の方と日頃の活動の情報交換をさせていただきました。次に保津川下り観光へ。保

津川は京都の豪商角倉了以が、慶長11年3月開削、水路をつくる工事に着手し幾多の困難を越え水運が築かれたそうです。乗船し船頭さんの指示どおり救命胴衣を着け、波よけシートをひざに掛け、船頭さんの見事な竿さばきを一番前の席で見せていただきました。気持ちのよい水の流る岩・ライオン岩・長い年月の竿跡など、川景色を堪能しました。所々に激流があり、舞い上がる波しぶきを避けながら、「キヤー」と喚声をあげておりました。川の兩岸の木々が、先の台風の影響なのか倒れている場所が所々に見かけられました。船頭さん3

人の方が交替で竿さばきを見せ、三人三様の語り口で楽しませていただきました。川下り終着点嵐山の右側の山腹の大悲閣（千光寺）は、了以が開削工事犠牲霊を弔うため建立したお寺であり、了以翁の記念碑も建っています。無事に嵐山に着き、本当に気持ちのよい川下りの体験ができ、有意義な研修会となりました。

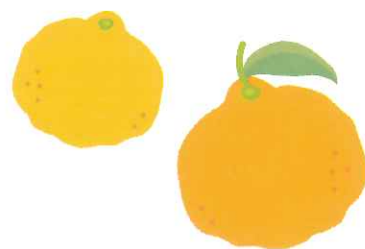


安中地区委員会

石井 光弘

平成最後の12月2日、岡山県最上稲荷神社は、丁度良いくらいの紅葉で秋深まったという感じでした。バスを降りて参道を歩き続け、階段をやって参道の本堂でお参り。帰りの参道の途中で昼食を取りました。食事の席でまず目についたのは、用意された柚の果実でした。聞いてみるとご当地の名産品らしく、その使い方には生活の知恵を感じた。正月を近く迎えることもあり最終は柚子湯に使うそうです。絞った汁は冷凍し、むいた皮も一切無駄にしない丁寧な保存と使い方には感心しました。食事は山の中のものと思っていきましたが、瀬戸内の幸、日本海の幸が用意されておりおいしかった。

次はさほど離れていない吉備津神社へ。国宝の社殿にお参りし、長い回廊を運動がてらみんなで「ワイワイ」と話ながら歩きました。由緒ある鳴釜も見学しました。そして、鷺羽山へ。瀬戸大橋の姿は久しぶりでした。夕映えの化粧の準備をする瀬戸内の舞台を見ながら、開通した当時、電車で四国へ渡った頃をなつかしく思い出してなんと表現すればよいのか気持ちの良い満足感と軽い興奮を覚えしました。鷺羽山にはまた行きたいと思っています。そんな、有意義で満足の日でした。僕だけかな。



表彰

おめでとうございます

(※は退任者)

☆文化の日 市民表彰

嶋野	充代	(八尾)	30. 11. 3
岸田	美智子	(八尾)	
都築	征二郎	(八尾)	
森川	淳子	(八尾)	
東	澄子	(八尾)	
谷村	知栄子	(用和)	
福田	和昭	(用和)	
田中	益子	(用和)	
堀川	鶴美	(山本第一)	
岡浦	典子	(山本第一)	
寺井	尚子	(山本第一)	
西澤	武	(山本第二)	
門野	貞夫	(山本第二)	
新井	朝子	(山本第二)	
西田	裕	(山本第三)	
田中	美喜子	(安中)	
杉山	文男	(安中)	
松井	伸子	(龍華)	
田岡	直美	(竹淵)	
三木	佐智子	(竹淵)	
伊賀	滋	(久宝寺)	

☆大阪府社会福祉協議会
会長表彰

◎永年勤続表彰

釜谷 文子	(用和)
-------	------

退任

お勤めご苦労さまでした

谷岡 勢津子	(八尾)
井上 日出美	(曙川)
山之内 カメ子	(曙川)
安藤 栄	(志紀)

石橋 益夫	(安中)
田中 良一	(高安)
石井 照江	(高砂)
藤原 英明	(南高安)

委嘱

今後ともよろしく

田川 雅子	(曙川)
藤崎 千里	(志紀)
鶯地 真	(八尾)

あとがき

表紙は、八尾市西山本町にある天台宗の寺院天台院です。文観上人といわれる僧が小庵を結んだと伝えられ、昭和26年作家でもあった今東光和尚が天台宗総本山である比叡山延暦寺から特命住職として派遣されて有名になりました。

特集は、小中学校への風知草持参について。児童委員、主任児童委員の役割として、学校等と家庭の間に地域社会の見守り役が課題となっています。学校との連携をはかり主任児童委員と学校の関係性構築の手がかりを得るために機関誌「風知草」を校長先生に手渡すことを試み、アンケート調査を行いました。調査等ではこの訪問が教育機関との連携のきっかけになると思うが多数をしめる結果となり、地域のことについての話ができ、学校からの依頼でケース会議が開催される事例もでき、手渡しすることが連携の第一歩につながったように思われます。

専門部会の研修会等の報告も掲載することができました。皆様の快いご協力と熱意で発行することができましたことを感謝いたします。

広報部会一同

福田 好巳	(曙川)	坂川 由利	(高砂)
上野 みよ子	(曙川)	駒林 増義	(高安)
岡田 美洋子	(曙川)	寺田 悦治	(志紀)
寺田 悦治	(志紀)	高田 武田	敏夫 (山本第三)
		高田 智子	(曙川)